

# ランチョンセミナー

5月9日 (木)

12:00 ~ 12:50

## ランチョンセミナー 1

第1会場

共催：MSD 株式会社/大鵬薬品工業株式会社

消化器領域における MSI 検査と MSI-High がん治療

MSI test and MSI-High cancer treatment in gastroenterology

座長：竹内 賢吾 (がん研究会 がん研究所 病理部/有明病院 臨床病理センター)

演者：桑田 健 (国立がん研究センター東病院 病理・臨床検査科)

「消化器腫瘍の病理診断と MSI 検査

Diagnosis of cancers in digestive organs and MSI Test」

原 浩樹 (埼玉県立がんセンター 消化器内科)

「消化器領域における MSI-High がん治療を考える

How to treat MSI-High cancer in digestive organs」

## ランチョンセミナー 2

第2会場

共催：武田薬品工業株式会社

座長：佐藤 康晴 (岡山大学大学院保健学研究科 病態情報科学)

演者：田丸 淳一 (埼玉医科大学総合医療センター 病理部病理診断科)

「T 細胞リンパ腫における CD30 免疫染色の必要性

The necessity for CD30 immunostaining in T cell lymphoma」

## ランチョンセミナー 3

第3会場

共催：ライカ マイクロシステムズ株式会社

座長：小森 隆司 (東京都立神経病院)

演者：里見 介史 (国立がん研究センター)

「WHO2016 分類のグリオーマ診断 —新規 1p/19q FISH プローブの開発—

WHO 2016 Classification of gliomas —Development of a novel FISH probe for detection of 1p/19q codeletion」

## ランチョンセミナー 4

第4会場

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

座長：石井源一郎 (国立研究開発法人国立がん研究センター 先端医療開発センター 臨床腫瘍病理分野)

演者：佐々木高明 (旭川医科大学病院 呼吸器センター)

「希少肺癌の適切な診断と BRAF 陽性肺癌の治療戦略 —実臨床経験を基に—

Appropriate diagnosis of rare subtypes of non-small cell lung cancer (NSCLC) and treatment strategy for BRAF-positive NSCLC ~Experience-based treatment~」

畑中 豊 (北海道大学病院 ゲノム・コンパニオン診断研究部門)

「次世代シーケンサーを用いた肺癌マルチプレックスコンパニオン診断：今後の臨床運用とその留意点

Next generation sequencing (NGS)-based multiplexed companion diagnostics for lung Cancer : Key points for routine clinical practice」

#### ランチョンセミナー 5

第5会場

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

座長：中村 直哉 (東海大学医学部 基盤診療学系 病理診断学)

演者：茅野 秀一 (埼玉医科大学 保健医療学部 臨床検査学科)

「骨髄病理ナビ ～MPN を中心に～

Advisory notes on Bone Marrow Pathology in the Diagnosis of MPN」

#### ランチョンセミナー 6

第6会場

共催：キヤノンメディカルシステムズ株式会社/アクトメッド株式会社

座長：西原 広史 (慶應義塾大学医学部 腫瘍センター ゲノム医療ユニット)

演者：池田 貞勝 (東京医科歯科大学医学部附属病院 腫瘍センター)

「がんクリニカルシーケンスの現状と画像診断への期待

Clinical cancer genome sequencing and expectation for imaging diagnosis」

#### ランチョンセミナー 7

第7会場

共催：イルミナ株式会社

座長：北川 昌伸 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 包括病理学分野)

演者：森 泰昌 (国立がん研究センター中央病院 病理・臨床検査科/遺伝子診療部門；  
研究所 分子病理分野)

「FFPE サンプルを用いた次世代シーケンシング：それは病理医に何を与えるのだろうか？

Next Generation Sequencing with FFPE Samples : What will it give to pathologists?」

5月10日 (金)

12:00 ~ 12:50

#### ランチョンセミナー 8

第1会場

共催：中外製薬株式会社

座長：横崎 宏 (神戸大学大学院医学研究科 病理学講座 病理学分野)

演者：武藤 学 (京都大学大学院医学研究科 腫瘍薬物治療学講座)

「がんゲノム医療の臨床実装

Precision cancer medicine in clinical practice」

#### ランチョンセミナー 9

第2会場

共催：バイエル薬品株式会社

座長：中島 収 (久留米大学病院 臨床検査部)

**演者：**松井 修（金沢大学 名誉教授）

「Gd-EOB-DTPA 造影 MRI による肝細胞性結節の診断：分子病理学的背景との対比

Diagnosis of hepatocellular nodules by Gd-EOB-DTPA enhanced MRI : correlation with molecular pathology」

#### ランチョンセミナー 10

第 3 会場

**共催：**ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社/小野薬品工業株式会社

**座長：**谷田部 恭（愛知県がんセンター 遺伝子病理診断部）

**演者：**Alain Borczuk（Department of Pathology, Weill Cornell University Medical Center）

「Molecular testing in non-small cell lung cancer in the United States —managing increasing demand with small samples」

#### ランチョンセミナー 11

第 4 会場

**共催：**サクラファインテックジャパン株式会社

**座長：**長村 義之（慶應義塾大学医学部/日本鋼管病院 病理診断科）

**演者：**Richard John Zarbo（Henry Ford Health System, Detroit, Michigan U.S.A.）

「Supercharging Surgical Pathology with Lean Production Principles」

#### ランチョンセミナー 12

第 5 会場

**共催：**ノバルティス ファーマ株式会社

消化管 NET の病理診断 ～WHO2019 改訂をふまえて～

Pathological diagnosis of gastrointestinal NETs ～Based on WHO Classification of Tumors of the Digestive System, Fifth edition～

**座長：**福嶋 敬宜（自治医科大学附属病院 病理診断部 病理診断科）

**演者：**九嶋 亮治（滋賀医科大学 臨床検査医学講座 病理診断科）

「胃・大腸癌取り扱い規約におけるカルチノイド腫瘍と WHO 分類

Handling WHO classification on Carcinoid tumor that in Japanese Classification of Gastric/Colorectal Carcinoma」

笠島 敦子（Department of Pathology, Technical University Munich）

「膵消化管神経内分泌腫瘍の WHO2019 分類における改訂事項

What's new in WHO2019 classification of gastroenteropancreatic neuroendocrine neoplasms (GEP-NEN) ?」

#### ランチョンセミナー 13

第 6 会場

**共催：**アジレント・テクノロジー株式会社

**座長：**竹内 賢吾（がん研究会 がん研究所 病理部/有明病院 臨床病理センター）

**演者：**西原 広史（慶應義塾大学医学部 腫瘍センター ゲノム医療ユニット）

「がん遺伝子検査と免疫染色のクロストーク

Cross talk of genomics and immunohistochemistry consolidates cancer precision medicine」

#### ランチョンセミナー 14

第 7 会場

**共催：**シスメックス株式会社

**座長：**佐々木 毅（東京大学大学院医学系研究科 次世代病事情報連携学講座）

**演者：**畑中 豊（北海道大学病院 ゲノム・コンパニオン診断研究部門）

「がんゲノムプロファイリング検査の臨床運用：病理部門の役割

Comprehensive genomic profiling for cancer in routine clinical practice：The role of pathology department」

**5月11日（土）**

**12:00～12:50**

**ランチョンセミナー 15**

**第1会場**

**共催：**MSD 株式会社/大鵬薬品工業株式会社

婦人科領域における MSI 検査と MSI-High がん治療

MSI test and MSI-High cancer treatment in gynecology

**座長：**佐々木 毅（東京大学大学院医学系研究科次世代病情報連携学講座 特任教授/ゲノム病理標準化センター・遠隔病理診断センター/東京大学知能社会国際卓越大学院）

**演者：**笹島ゆう子（帝京大学医学部 病院病理部）

「MSI 検査と婦人科がんにおける精度管理のポイント

MSI Test and Key Points of Quality Assurance in Gynecological Cancers」

岡本 愛光（東京慈恵会医科大学 産婦人科学教室）

「婦人科がんにおける MSI-high がん治療を考える

How to manage MSI-High cancer in gynecology」

**ランチョンセミナー 16**

**第2会場**

**共催：**エーザイ株式会社/MSD 株式会社

**座長：**鹿毛 政義（久留米大学 先端癌治療研究センター）

**演者：**土谷 薫（武蔵野赤十字病院 消化器科）

「肝細胞癌の悪性度と新規分子標的治療薬レンバチニブの治療効果

Malignant grade for Hepatocellular Carcinoma and Efficacy of New Molecular Target Agent Lenvatinib」

**ランチョンセミナー 17**

**第3会場**

**共催：**セルジーン株式会社

DLBCL 個別化医療を見据えた病理と血液内科の連携

Future perspectives on precision therapy for DLBCL through pathology-hematology cooperation

**座長：**安藤 潔（東海大学医学部 内科学系 血液・腫瘍内科学）

**演者：**中村 直哉（東海大学医学部 基盤診療学系 病理診断学）

「DLBCL の診断と治療 ～病理の立場から～

Diagnosis and treatment for DLBCL from pathology perspective」

**座長：**中村 直哉（東海大学医学部 基盤診療学系 病理診断学）

**演者：**安藤 潔（東海大学医学部 内科学系 血液・腫瘍内科学）

「DLBCL の診断と治療 ～血液内科の立場から～

Diagnosis and treatment for DLBCL from hematology perspective」

### ランチョンセミナー 18

第4会場

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

肺カルチノイドと鑑別疾患 —診断で変わる薬物療法—

Carcinoid tumor of the Lung —Differential diagnosis and clinical implication—

座長：石川 雄一（国際医療福祉大学三田病院 病理部/がん研究会がん研究所 病理部）

演者：谷田部 恭（愛知県がんセンター 遺伝子病理診断部）

清水 淳市（愛知県がんセンター 呼吸器内科部）

### ランチョンセミナー 19

第5会場

共催：ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

座長：小田 義直（九州大学大学院医学研究院 形態機能病理学）

演者：前田 大地（大阪大学大学院医学系研究科 先端ゲノム医療学講座）

「病理医から見たがんゲノム医療の実際

The Overview of Genomic Medicine in Japan」

### ランチョンセミナー 20

第6会場

共催：中外製薬株式会社

座長：羽場 礼次（香川大学医学部附属病院 病理診断科・病理部）

演者：元井 紀子（国立がん研究センター中央病院 病理・臨床検査科）

「肺癌病理バイオマーカー診断の今：個別検査とパネル検査

Pathological biomarker diagnosis of Lung cancer in 2019：single test vs. panel test」

後藤 悌（国立がん研究センター中央病院 呼吸器内科）

「Driver 遺伝子変異陽性肺癌治療の最前線

Frontier in the treatment of lung cancer with driver oncogene」

### ランチョンセミナー 21

第7会場

共催：アストラゼネカ株式会社

病理医と臨床医の関わり方 ～進行性尿路上皮がん薬物療法を例に考える～

Bridging the gap between pathologists and clinicians：for the new treatment strategy of advanced urothelial carcinoma

座長：三宅 秀明（浜松医科大学 泌尿器科学講座）

演者：雑賀 隆史（愛媛大学大学院医学系研究科 泌尿器科学）

「膀胱癌治療戦略の新展開について

New treatment strategy for Bladder cancer」

大江 知里（関西医科大学 臨床病理学講座）

「尿路上皮癌の新たな治療戦略に役立つ病理診断 ～免疫染色の有用性と問題点～

Pathological diagnosis for new treatment strategy of urothelial carcinoma ～Application and limitation of immunohistochemistry～」